三菱地所 雛元 から全員に: 04:01 PM

申し訳ありません。都合により途中退出します。私のメモを以下に貼っておきます。人生100年時代に向けてどのような働き方や仕事のシーンを創出すべきか都会の中、地方都市の中、自然の中、など仕事のシーンに合わせて、最適な場所や時間の使い方のなかで、個人の力を最大に発揮できる働き方なぜ上記のシーンと創出しようと思ったか。１）現在のライフシーンを取り巻く環境場所や時間に縛られがちひとりの人間が過ごす時間、仕事と学びと余暇をそれぞれ別々のこととしてとらえており、全体最適ができてない２）人生１００年時代に想定される変化仕事と学びと余暇の境界があいまいになり、そのなかで、自分にとって、また社会にとって自由な価値創造ができるようになる３）新しいライフシーンはどのような豊かさを私たちの暮らしや社会にもたらすか社会と自分との関係性が多様化し、また豊かになる。そのことで、社会に新たな価値観が生まれ、資本主義の在り方も変えていけるのではないか。上記のシーンの創出のために変化をどのように取り入れ、都市・インフラをどのように変えていくか。１）ライフシーンの変化２）着目する都市・インフラ特定目的に特化したスペース（例えばオフィス）交通インフラ（特にマストラ）

清水建設の日下 から全員に: 04:04 PM

あと10分ほどで退出するため、貼り付けておきます。　　　　特定の１シーン：いくつか利用する生活拠点の一つ、山間の温泉をひいた古民家で、畑仕事後の風呂上りに浴衣で冷酒をチビチビやりながら新しいプランのアイディアを練っている。　　　　　　　　　　　　　　　なにかと縛られている。生活拠点は基本１つ。会社も基本１つ。一日８時間の労働標準テレワーク・居場所の多様化（生活拠点が複数化）時間の自由化（長さ、非連続）　　一言でいうと、ストレスを感じることのない（少ない）暮らし。趣味や副業、ワークとライフをパラにできるという時間の使い方の充実。季節や自分のやりたいことに合わせて生活拠点を移動するという環境の多様化。生活拠点利用の経済的負荷の軽減化。時間に対する価値観の変革。都市部というより沿岸部や山間部の生活拠点化。ストレスのない通信能力。